

北九州市学校応援基金



北九州市学校応援基金とは

北九州市では、本市の市立小・中・高等学校及び特別支援学校での取組（学校教育）に役立てることを希望して寄附された寄附金等により積み立てられた基金をもとに、学力・体力の向上や教育課題の解決に向けた各学校の特色ある取組を応援する事業を実施しています。

学校応援基金による各学校を応援する仕組み

各学校が実施したい取組やこれまでの学校の取組などをもとに採択校を教育委員会にて選考し、予算の範囲内で、各学校の取組を支援します。

寄附

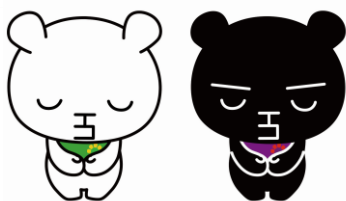
案内

申請

選考

支援

寄附者→基金 教育委員会 →各学校 →教育委員会 教育委員会 教育委員会→採択校



基金の趣旨をご理解いただき、
ぜひ 皆様のご協力をお願いします。

令和6年度実績

（令和6年度予算総額800万円 採択校当たり約40万円）

応募校数及び採択校数

学校種	応募校数	採択校数
幼稚園	0	0
小学校	35	20
中学校	17	5
特別支援学校 ・高等学校	1	1

税制上の優遇措置

北九州市学校応援基金に寄附をする場合、個人の寄附金に関しては、一定の条件のもと所得税等から控除され、法人として寄附した場合も全額を損金算入でき、**税制上の優遇措置**があります。

詳しくは、担当までお問合せください。

寄附 をお考えの方

寄附をご検討いただける方は、
下記担当までご連絡ください。

北九州市教育委員会学事課

TEL:582-2378

e-mail:kyou-gakuji@city.kitakyushu.lg.jp

FAX:581-5860



「未来を拓く力が芽吹く」ステップアップルーム 石峯モデルの構築（石峯中）

石峯中学校では、本事業を活用してステップアップルーム（長期欠席及びその傾向の生徒のための別室登校用の教室）を新設し、個に応じた学習環境を整えました。また、ステップアップルームへ登校する生徒が自己選択・自己決定できる取組を実施し、コーチング等の教職員向け研修を行いました。

このような取組により、引きこもり状態にあった生徒が登校できるようになったり、不登校傾向の生徒の自己理解が進み、自分のペースで学習できるようになったりと、誰一人取り残さない教育の実践に向けて大きく前進しました。

新設1年目の取組はガイドブックとしてまとめ、翌年度以降の支援や指導方法の工夫に活用するなど、本市の不登校対応実践のモデルとなるような活動を進めています。



表紙はステップアップルームへ登校する生徒の作品

小中一貫教育による子どもの学びと心の育ち事業（門司中央小ほか3校）

門司中央小学校・小森江小学校・門司海青小学校・門司中学校では、地域課題である「防災教育」や小5～中1の「キャリア教育」に関する合同授業を行い、4校のつながりを深めました。

門司中学校区は校区がとても広いため、各学校間はバス移動が必要ですが、本事業を活用して、中学校見学会や防災講演会、職業人から話を聞く「夢授業」等を中学校区合同で行うことができました。これらの活動を通じて、児童生徒の新しい環境に対する不安が軽減され、中学校に進学した際に新しい人間関係を築く期待が生まれるなど、中学校進学に対して前向きな気持ちを持つことができました。

